

ハンディキャップを、
とりのぞくキャップ。



包みかく
さ
話します
ず



電車に乗るとき、荷物を持ちながら飲み物を飲むのって、わずらわしい上に危険も伴います。女性の場合、必ずと言っていいほどバッグで片手がふさがっているし、子どもやお年寄りにとっては、ペットボトルを持つこと自体が小さなハンディを持つことになります。それを解決するために生まれたのが、この「ストラップバンドキャップ」。新幹線などでお弁当を食べるとき、キャップが座席の下に転がってしまう…なんてこともなくなります。キャップのストラップ部分は数ミリの厚さしかありませんが、なんと100回程度の開け閉めまでなら耐えられるというタフさ。水平より少し斜めにキャップとネジ部分が噛み合うようにすることで、締め直すときもスムーズに。さらにキャップを持って、くるっとひねれば、すぐにとれてゴミ処分時の分別もかんたん。強く、やさしく、ときに強い。ストラップバンドキャップがこんな風にヒーローの条件を満たしているのは、困っている人を救うためにやってきたからなのかもしれません。

包容力がちがう。



東洋製罐グループホールディングス